

【東京】

「日本の魚守る責任」 海とサカナのフォーラム 児童ら取材報告
2011年1月23日

伊豆大島の取材結果を
報告する「こども記者」
ら＝渋谷区で



海と魚を通して食や環境、産業、文化を考え、行動する市民団体「ウーマンズフォーラム魚」（中央区）主催のイベント「こども・海とサカナのフォーラム」が二十二日、渋谷区神宮前の東京ウィメンズプラザで開かれた。「こども記者」に選ばれた小中学生二十人が昨年十一月に訪れた伊豆大島での取材内容を報告、参加者約二百五十人が耳を傾けた。

同団体の子ども向けプロジェクト「海彦クラブ」の一環で、今回で十一回目。東久留米市立第二小や中野区立江古田小の五年生、世田谷区立瀬田中の一年生が、定置網漁やクサヤの加工場などを見学。「大島の成り立ちとクサヤ食文化」「海の幸とその料理」「大島の漁業と歴史」などのテーマで、工夫を凝らした発表をした。

こども記者らは「海をきれいにしていきたい」「日本の魚を守る責任がある」などと感想を口々に語った。

[この記事印刷する](#)

最新記事

「日本の魚守る責任」 海とサカナのフォーラム 児童ら取材報告
(1月23日) 